

02

「書き」を助ける手立て

①入力方法

ICTを活用して「書く」ことができるようになることで、書くことにかかる時間を短くし、思考や理解が進む児童・生徒がいます。ICTを活用すれば、読み書きの難しさが全て解消され、文章がすらすら書けるようになるものではありませんが、手書きやICTの活用等が選べるような環境を構築していくことは重要です。

端末を活用することで、これまで書くことが苦手だった児童・生徒から新たな表現・表出が生まれてくることが期待できます。

01

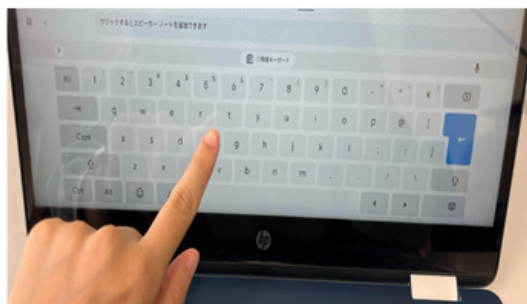
様々な入力方法

- ✓ 音声入力
- ✓ タイピング(ローマ字入力・かな入力・フリック入力)
- ✓ 手書き

iPad以外でもWindowsタブレットやChromebookでも画面キーボードを活用することで、音声入力やフリック入力、手書き機能が使えます。



物理キーボード

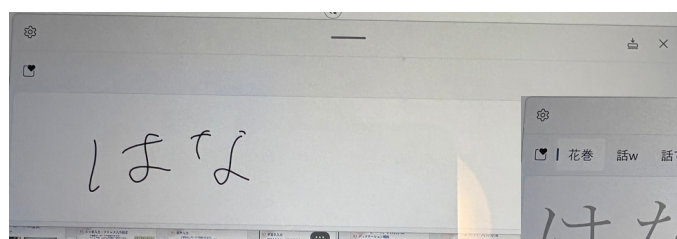


画面キーボード

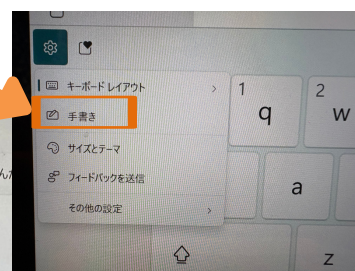
✳️「作文が全く書けない」児童・生徒も、音声入力の使用により、自分の言葉が文字になる経験をするすることで、文章を作る意欲が高まる場合があります。

✳️「手書き」機能は手書きで書いたものがフォント文字に変換される機能です。

iPad：設定＞一般＞キーボード＞「新しいキーボードを追加」で「日本語一手書き」を追加
Windows／chromebook：画面キーボードで「手書き」をタッチしONにする。



はな



02

「書き」を助ける手立て

①入力方法

02

タイピング練習

タイピングを練習するためのソフトは、モニターに映った文字を「読んで」タイプを打つやり方のものが多く、これでは読むこと自体が苦手な児童・生徒には負担が大きくなります。タイピング練習を行いやすくする工夫が大切です。

1. 「読み」の負担を減らす工夫

- 好きな歌の歌詞や聞き取った言葉を入力する。

2. 運動記憶を活用する

- 指の動きだけの練習をする。「あいうえお」など基本の文字から動きだけの練習をする。

- 視覚的に指の位置が学べるソフトを使う。
→ ローマ字を覚えられなくても、運動記憶によりタイピングができるようになる児童・生徒もいます。

3. 特殊音節など、表記のルールも学ぶこと

- 入力の際には表記ルールの理解が必要です。表記ルールとタイピングの学習とを並行して行うことで、定着を図りやすくすることが大切です。
- 入力後に読み上げ機能を使い、自分で確認する方法も効果的です。

💡 タイピングはあくまで学びのスタートライン

タイピングができるようになって、**「文字を書く」**ことだけでなく**「文を作ること」**にも支援が必要な児童・生徒もいます。タイピングはあくまで学びを支える手段であり、すべての課題を解決することはできません。このことを踏まえつつ、学習スキルの土台として活用できることを目標に習得することを目指していきましょう。



②ノートをとることが苦手

01

02

「書き」を助ける手立て ②ノートをとることが苦手

02 アプリやソフトの活用

GIGA端末のOSや使用するシステムによりますが、以下のアプリなどでノートテイクをすることが可能です。活用の仕方についての詳細は親の会のHPを御確認ください。

☑Microsoft OneNote

Microsoft365を利用している端末で利用できます。
365の契約をしていれば追加料金なく利用可能です。
自治体によってはデスクトップ上にもない場合もありますが使用自体は可能な場合が多いです。
WindowsタブレットかiPadで利用可能です。
Chromebookの場合はブラウザで利用できます。
共有機能も使えるため、ワークシートなどのファイルのやりとりなども児童・生徒とスムーズに行えます。



☑Goodnotes

iPadで利用できるアプリです。Apple School Managerを通じてデバイスを管理している場合、Goodnotesのフルバージョンを無料で利用できます。PDFや写真を読み込んで書き込むなど、直感的に使うことができます。



☑Googleドキュメント

いわゆる文書作成ソフトです。ChromebookやGoogleのシステムを使っている端末で利用できます。PDFへの書き込みなどはできないため、その場合はギャラリーというアプリを活用します。



ギャラリー

☑(例) おたすけっち

東京書籍提供のブラウザで使えるノートアプリです。ブラウザで利用できるため、導入が簡単です。また、直感的に使えるため、中学年の児童でも使いやすいのが特徴です。



02

「書き」を助ける手立て ②ノートをとることが苦手

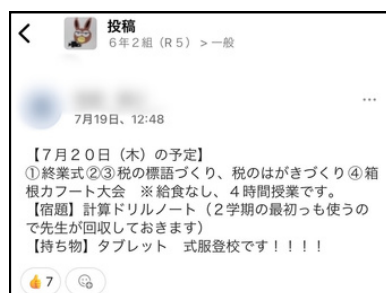
03

連絡帳をデジタル配信する

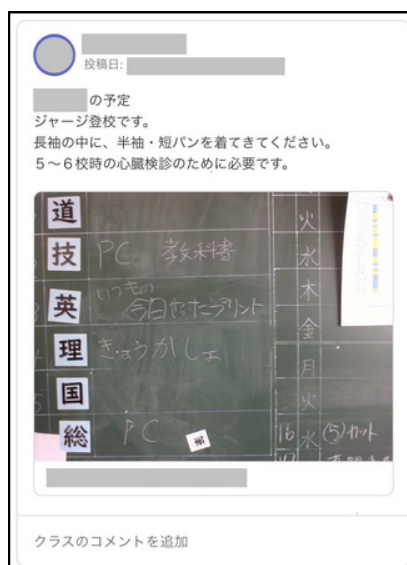
連絡帳を通じて行われている、翌日の予定や宿題の内容の確認をICTを活用して行う方法もあります。また、欠席した児童・生徒のためなどに、出席している児童・生徒がとったノートや板書の写真を配信している例もあり、以下に活用可能なツールを紹介します。これら以外にも多くのシステムが存在します。どの自治体にあっても、基本的には活用可能なツールが入っています。



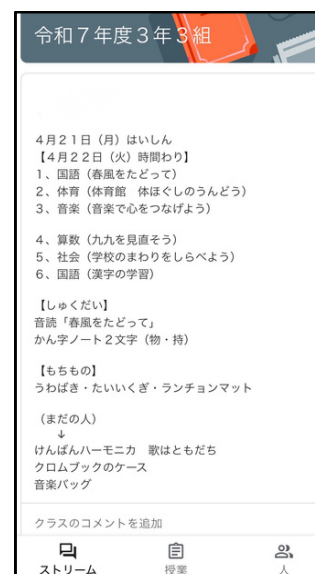
【活用例】



Microsoft Teamsでの配信例



Googleclassroomでの配信例 ↑

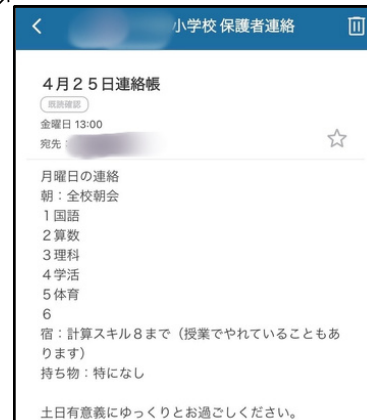


- 連絡帳用の場所を作り配信していきます。
- 板書を写して送る方法や、テキストを直接入力する方法など、やり方は様々です。
- 自宅の端末でもシステムにログインができる自治体では、保護者もすぐに宿題や持ち物などの連絡帳の内容を確認できるようになっています。



出欠アプリも連絡帳代わりに活用できる場合もあります。アプリによっては、多言語対応ができるものもあります。

すぐるでの配信例→



02

「書き」を助ける手立て

③テストでの活用法

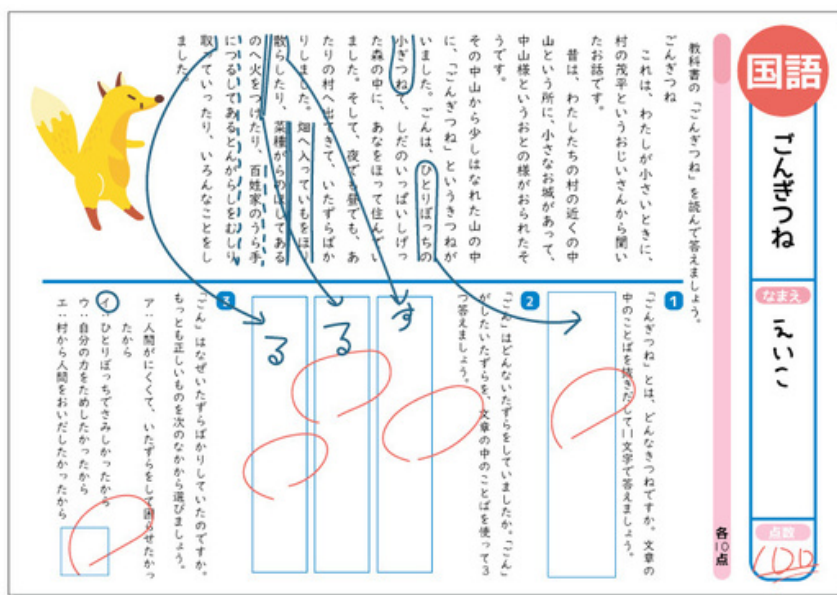
01

小学校のカラーテストでの回答方法の例

書字に難しさのある児童・生徒のカラーテストでの回答方法の例

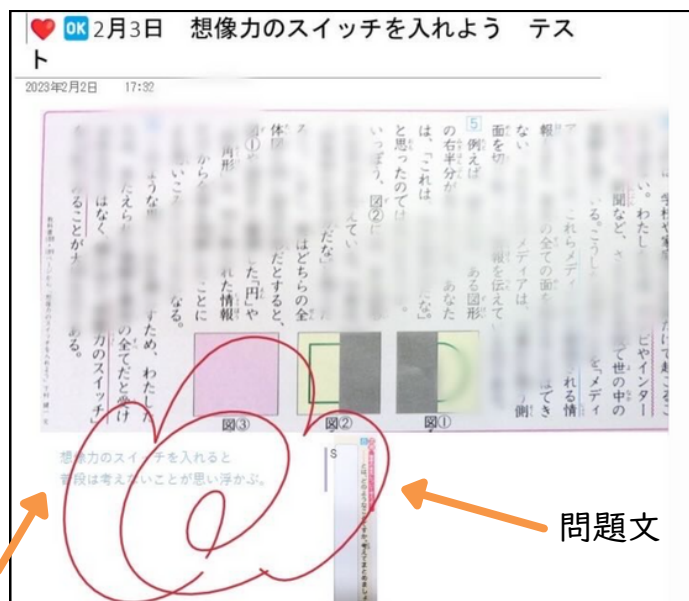
→親の会HPに説明があります

♥該当箇所を囲い、矢印を引っ張り回答する方法



♥GIGA端末に問題を取り込み、入力して回答する方法

使用するノートアプリなどに問題を保存しておき、記述部分だけを抜き出してタイピングで解答する例



解答をここに入力

問題文

02

「書き」を助ける手立て

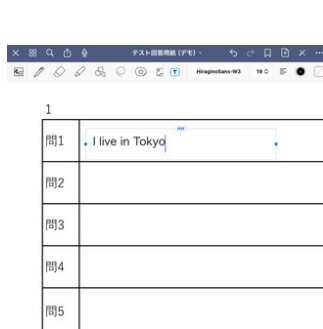
③テストでの活用法

02

中学校の定期テストでの回答方法の例

♥回答用紙のPDFを端末に取り込み、入力して解答する方法

PDFに書き込みができるノートアプリ等を使用して、キーボード等で解答を入力します。解答後のデータは、プリンターで印刷したり、教員の端末に送信したりします。



Goodnotesで入力



PDF出力や印刷



P20参照



Microsoft OneNoteで入力

P20参照

♥漢字の書き取り問題への対応

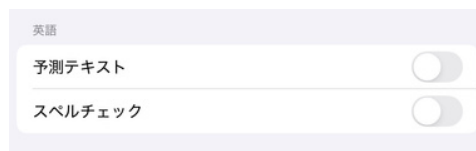
全ての問題で端末使用を制限するのではなく、漢字の書き取り問題を解く時間を先に設け、その後に端末の使用を許可をすることが考えられます。

♥英語への対応

英単語の綴りを書くような問題では、単語の予測変換をオフにする機能があります。

(iPadの場合)

「設定」>「一般」>「キーボード」
>「予測テキスト」のオフ



♥数学への対応

特殊記号を入力する際には、数式入力やキーボードアプリを使用することが考えられます。



無料 iOS



RiKeyboard

02

「書き」を助ける手立て

④作文

作文でのICT活用では、手書きでは実現が難しい「消すこと」「書き足すこと」がしやすく、児童・生徒が「文を作ること」や「文を構成すること」に注力することができます。Microsoft Wordには「原稿用紙」や「縦書き」設定があり、iPadでは縦書き入力専用のアプリが用意されています。また、作文の内容を考えたり、言葉の使い方を学習したり、文章構成を助けてくれたりするアプリもあります。

その際、使いやすい入力方法を使用できるようにしていくことが大切です。

01 縦書きで作文を書く

☑縦式 (iPad)



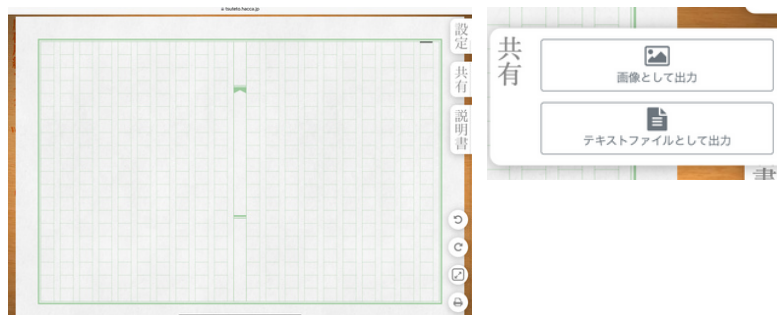
無料 iOS

iPadで利用できる原稿用紙アプリです。原稿用紙のサイズやフォント等細かな設定をすることができます。



☑原稿用紙ライター (Web)

Webで利用できる原稿用紙の見た目をしたテキストエディタ。Web上で動くので、端末によらず利用することができます。



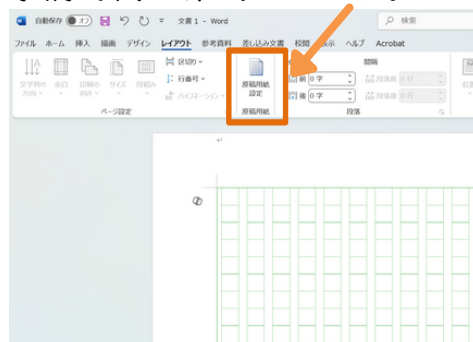
☑縦書き原稿用紙作成シート (Googleスプレッドシート)

学校教育情報処理研究会が作成した原稿用紙に見立てたスプレッドシート



☑原稿用紙の設定 (Microsoft Word)

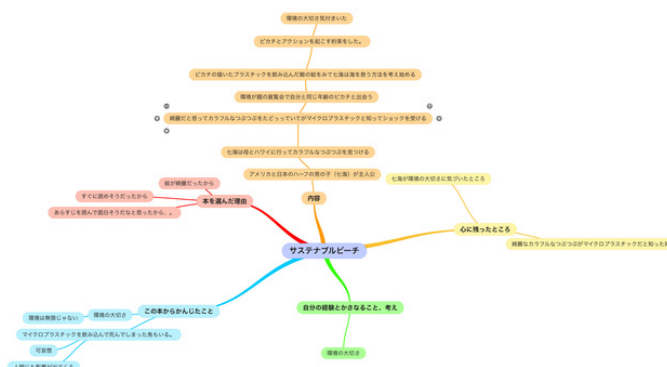
レイアウト>原稿用紙設定 で原稿用紙を作成できます。



④作文

プランニングのためにマインドマップを活用する例

サステナブルビーチ



*国語のデジタル教科書にマインドマップ機能が入っている場合もあります。

文法や文の型を意識できるアプリの例

[illegible]

03

学習支援

①学習支援に活用できるアプリやサイトの例

01

読み・ひらがな・カタカナの学習に活用できるアプリなどの例

にほんごーひらがな



無料
iOS

リズムに合わせて単語を口ずさみながら、覚えられるひらがなアプリ

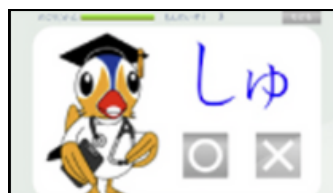


T式ひらがな音読指導アプリ



無料
ウェブ
アプリ

児童・生徒と教員が一对一で「読み」の学習を行うためのアプリ。画面操作は教員が行います。



音韻認識力をはぐくむ！ ひらがなトレーニング



1,000円
iOS

目と耳を使ってひらがなの学習の基礎スキルとなる音韻認識力を伸ばすアプリ。



多層指導モデルMIM (デジタル版)



オープン価格
まなびポケット、
iOS、Windows

特殊音節などの読みのトレーニングもできるアプリ。
学校向け専売品



スマイルプラネット



無料
ウェブページ

認知特性に合わせて学べるプリントをダウンロードして利用できるサイトです。
アセスメントから実施可能です。

03

学習支援

①学習支援に活用できるアプリやサイトの例

02

漢字の学習に活用できるアプリなどの例

ミチムラ式漢字学習法

ミチムラ式 漢字学習法

唱えて覚える漢字カードと、デジタルのebook版では、読み上げ音声を聞いたり、写真カードを見ながら学習できます。

1,100円～

Lentrance、apple books

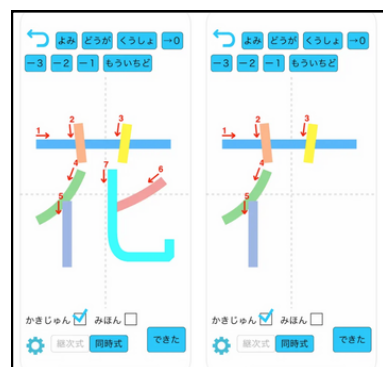


Oska Writing



3,000円
iOS

認知特性（同時処理、継次処理）に合わせて学べる漢字アプリです。



常用漢字筆順辞典



無料
iOS、
android



手書きで簡単に書き順が検索でき、なぞり書きもできる辞典アプリ

デジタル教科書の漢字教材

トメハネハライに厳しくなく、書き順を見られ、「読み」を第一に学べるようになっています。



光村図書 国語 デジタル教科書

03

読解や語彙の習得に活用できるアプリの例



T式語彙指導アプリ 「ことばのべんきょう」

T式の語彙指導アプリで、語彙の指導用として活用できます。



読書力サポートアプリ

出てくる単語を視覚的に把握して読めるようになるアプリ。質問に答える練習を通して、作品の内容を理解（読解）できるようになっています。

03

学習支援

②生成AIを活用した個別の学習教材作成例

生成AIを活用することで、児童・生徒に合わせた学習教材を効率よく作成できるようになりました。「この子に合わせてこういうものを作りたい」という調整がしやすくなっています。AIの進化は日進月歩のため、活用アイデア例の紹介にとどめますが、詳細のプロンプト（指示だし）の使い方などは親の会のHPを御確認ください。これまでアナログで一つずつ作成していた個別の学習教材を生成AIを使って作成してみませんか。

＊個人情報や機密情報をAIに読み込ませて活用してはいけません。

＊文科省と東京都などの生成AIガイドラインを確認の上御活用ください。

01

例：漢字練習帳を作る

漢字の読みを習得させたい。例文とイラストを入れる練習帳がほしいな…



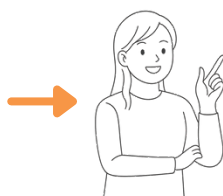
参考：なん先生

完成イメージ図

恩	可
れい文	れい文
仮	価
れい文	れい文

ここに例文が書ける

ここにイラストが描ける



AI、パワポで6×2の表を作って、5年生の漢字を入力して。

カシコマリマシタ



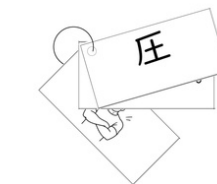
1分もかからずに練習帳完成！

圧	移
圧が強い人	物の場所を移動した。
因	永
事故の原因を調べた。	永久歯が抜けた。

例文とイラストは児童・生徒と一緒に考えて入力します。



カットして単語帳にも。



児童・生徒に合わせて「書き方」の練習帳に変えるのも簡単！

この教材のプロンプトは以下の通りです。
(2025年4月の有料版のChat GPTを使用)
A4縦 (21×29.7cm) の白紙Microsoft PowerPointスライドに、漢字カードを4枚 (2行2列) 配置してください (.pptx形式)。

【各カードの仕様】

黒枠0.75ptで囲み、上下3分割
(各区分も黒枠0.75pt)
背景・塗りつぶし・影すべてなし

【カード内構成】

- ① 上段：中央に漢字 (【ここに漢字一覧入力】/UDデジタル教科書体/72pt/黒)
- ② 中段：左上に「れい文」 (UDデジタル教科書体/18pt/左揃え・上寄せ・黒)
- ③ 下段：イラスト用の空欄 (枠のみ/透明/影なし)

02

学習アプリを作る

canvaAIを使用します。プロンプトを入力し「コードを生成」を選択して使えば、コーディングされた学習アプリも作成できます。

プロンプト例：1年生の漢字で、漢字と読みのカードマッチングゲームを作って

これだけで右のものができます



03

学習支援

②生成AIを活用した個別の学習教材作成例

03

例：読みやすくする工夫 色分けやスラッシュを入れる

文章を読むときに
おかしなところで
区切ってしまう…
読みやすくしたい



AIに品詞で分類して色をつけるように指示

たけしはじてんしゃでとしょかんに行くはずが、まっすぐ走らず、まちがいでち
がう道へ行ってしまいました。そこでは子どもたちがてつぼうのれんしゅうを
していました。すると、空がくもり、ゆうだちがふってきました。ながぐつのおば

AIに文節ごとにスラッシュを入れるよう指示

たけしは／じてんしゃで／としょかん／に行く／はずが、／まっす
ぐ／走らず、／まちがいで／ちがう／道へ／行って／しまいました。
／そこでは／子どもたちが／てつぼうの／れんしゅうを／していま
した。／すると、／空が／くもり、／ゆうだちが／ふって／きまし

参考：なん先生

見やすい色に調節するのも簡単！

プロンプトの出し方は親の会HPを御確認ください。

04

ワークシート作成 文法・語彙・作文・読解などへの活用

💡 児童・生徒の関心と読む力に合わせた教材を生成AIを活用して作成できます。

語彙と文法レベルは変
えずに、あの子の興味
のあるテーマでワーク
シートを作りたいな



- ①ワークシートのフォーマットを指示する（「説明文読解」などの基本的設定から、語彙・文法レベル、学年、設問内容、問題数など。詳しくは親の会HPへ）。
- ②「フォーマットを参考に、テーマを『遊園地』にしてイラスト入りの文章課題をPDFで作って」と指示して作成。
- ③内容に間違いやおかしなところがないかを確認の上使用する。

VISITING THE AMUSEMENT PARK

Many children have fun at amusement parks. They enjoy various rides and play games. Some children eat fun foods like cotton candy. Visiting an amusement park is exciting.

[Questions]

No. 1 Please look at the passage. What do many children do at amusement parks?
— They —.

No. 2 Please look at the picture. What is the girl eating?

No. 3 How many people are there in the picture?

No. 4 What ride do you want to try at an amusement park?

No. 5 Have you ever been to an amusement park?
Yes. — Please tell me more.
— I —.

さらに
発展

VISITING THE AQUARIUM

Many children have fun at aquariums. They enjoy looking at fish and other sea animals. Some children take pictures of the animals. Visiting an aquarium is interesting.

テーマの変更

レベルの
調整

Many children have fun at amusement parks. Some children eat fun foods like cotton candy.

課題形式の変更

子どもの実態に合わせて柔軟に教材を変更できます。

💡 プロンプトの出し方やこの他の活用事例は親の会HPを御確認ください。

保護者から先生方へのメッセージ

日々、さまざまな背景をもつ子どもたちに寄り添い、学びを支えてくださっている先生方に、心から感謝申し上げます。そうした中で、読み書きに困難を抱える子どもたちへの支援や、ICTを活用した新しい学び方を模索することは、決して簡単なことではないと感じています。

読み書きが苦手な子どもたちは、行動面に課題がない場合、教室の中で静かに困り、「やる気がない」と誤解されてしまうことも少なくありません。先生方にとっても、つまずきの原因や具体的な支援の方法が見えにくく、悩まれることが多いのではないのでしょうか。そして何より、子どもたち自身も工夫を重ねながら懸命に毎日の学校生活を送っています。

このリーフレットは、そんな先生方と子どもたちの「困った…」を、少しでも軽くできたらという思いから作成しました。子どもとの試行錯誤の中で積み重ねてきたアイデア集ではありますが、子どもたちが学びのスタートラインに立つための、役立つヒントやすぐに実践できる工夫を盛り込んでいます。ご紹介するさまざまな方法が、読み書きに困難を抱える子どもたちにも「多様な学び方がある」ことを知るきっかけとなり、それぞれの子が自分に合った「個別最適な学び」を選び取れる環境づくりの一助となれば幸いです。

まずはお気軽にページをめくってみてください。このリーフレットが、先生方と子どもたちの新たな一歩を支える手がかりとなることを心より願っています。

学び方の違う子の親の会ルピナス／カラフルバード



このリーフレットのことは、
「LIFT（リフト）」
と呼んでください！
～Learning Individually
with Flexible Tools～

協力



学び方の違う子の親の会ルピナス

ルピナスは全国LD親の会に所属し東京都内で活動をしている親の会です。LD（学習障害）を主訴とする学齢期の子の会員が多い点が特徴です。

<https://lupinusoyanokai.amebaownd.com/>



カラフルバード（CBLD）

カラフルバードは、LD（学習障害）のある子を育てる保護者と大学院生などによって構成された団体です。LDのための情報を集めて公開しているサイトを運営したり、ICT活用講座や交流会を実施したりしています。

<https://sld-colorfulbird.com/>

制作

《作成関係者》

学び方の違う子の親の会ルピナス
カラフルバード（CBLD）

副代表
主宰

宮崎 舞

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科
日本学術振興会 特別研究員 DC1

内田 佳那

《教育庁担当課》

教育庁指導部特別支援教育指導課



一人ひとりに合わせた学び方の選択肢～端末で広がる読み書き支援
LIFT～Learning Individually with Flexible Tools～

令和7年7月発行

編集・発行 東京都教育庁指導部特別支援教育指導課

所在地 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

電話番号 03（5320）6847